

## 飛び出せ高校生技能実習で地域協働事業（通称「飛び高」）の概要

農業農村整備事業は、農地や農業水利施設などの基盤整備を行うことで、地域の農業の持続的発展を支える重要な事業であり、農作物の生産性向上および農村の生活環境の整備にとって必要不可欠な存在である。一方、近年の人口減少や若年層の県外流出により農業農村整備事業に関わる人員が減少し、問題になっている。

こうした現状に対し、山形県では、高校生に地域の農業農村整備事業の施工現場で専門的な体験をしてもらうことや農業水利施設での見学を通して、土木技術者への理解を深めて将来の職業選択の一つに加えてもらうとともに、普段学んでいる学校の授業の内容が、実際の社会でどのように活用され、どのように役立っているのかを知ってもらうための機会として本事業を行っている。



コンクリートの強度測定（柳沢ため池）



排水用ポンプの点検・調整（茨野排水機場）

### Q, 飛び高に参加してみてどうでしたか。

学校では主に土木分野について学んでいるが、今回の飛び高を通して土木分野と農業分野のつながりについても知ることができて、それぞれの関係を学ぶ貴重な経験になりました。

学校で測量の実習をしているが、この事業では実際の現場に行くことで、学校で培った知識が現場でどのように活かされているのかを知ることができて、今まで以上に土木分野に興味を持つことができました。

今回の飛び高を通して、普段体験することのできない貴重なことを学ぶことができました。また、農業農村整備事業は、私たちの生活を支えているなくてはならないものだと感じました。

授業では現場の様子や使用する機械、計算方法などを教科書の写真や実習を通して学んでいるが、この事業では実際の現場の空気感や人とのコミュニケーションを実際に体験することができてとてもためになりました。



大雨災害復旧現場の測量（酒田市）

### 環境技術科担任の先生の思い

授業では学習していない農業土木分野について知るいい機会となっていて、視野を広げることができると考えています。

この事業を通じて、農業土木分野は食につながる分野であり、私たちの暮らしの支えになっていることを感じてほしいです。



酒田光陵高校  
阿部 諭 教諭

# 飛び出せ！高校生！！

## 地域を支える技術者を目指して



頭首工と小水力発電施設の見学（日向川頭首工）

### 土木技術者を育成する「飛び高」

飛び出せ高校生技能実習で地域協働事業（通称「飛び高」）は、地域の未来を支える土木技術者の育成を目的とした事業である。県内各地の高校を対象に平成21年度から実施している。

近年、農業農村整備事業は農業土木分野に加えて、豪雨災害の頻発・激甚化や、大規模地震のリスクが高まっていることから、地域の安全・安心へ寄与する役割が求められている。令和7年度の「飛び高」では、令和6年7月の豪雨災害の復旧現場やため池改修工事の現場、排水機場の見学といった、地域の災害復旧や防災・減災に関連するカリキュラムを増やして実施した。庄内地方では今年度、山形県立酒田光陵高校環境技術科の3年生6名が計6回の実習に参加した。

### 「飛び高」に参加した高校生の思い

実習に参加した学生の中には、令和6年7月の豪雨災害ボランティアに参加した学生もいる。ボランティアでは、被災した家屋の泥出しや家財の運搬等の作業を行った。災害ボランティアと「飛び高」の体験から学生は、「周りと話し合い、安全意識や施工のスピードに常に気を配り作業をしていきたい。そして災害に強い土地や建物をつくり、安全・安心な施工を行う技術者になりたい。」「自然災害に強いインフラ整備に貢献し、安全・安心な社会をつくる技術者を目指したい。」「と、地元の安全・安心を守りたいという強い思いを抱いていた。

また、土木技術者の志望者が減っている現状に対して学生達も危機感を抱いており、「自分たちがこの事業で経験したことを基に、土木の魅力について発信していきたい。そして、土木に興味を持つ若者を増やせるように頑張りたい。』と語った。